

SS探究基礎ゼミナール 「研究基礎演習」講座・授業教室一覧

授業回数一		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
日時		4月27日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月15日	6月22日	6月29日	7月13日	7月23日
教科・分野	担当者	サイクルⅠ					サイクルⅡ				
理系的視点	生物環境学	折井	生物と環境問題 地球温暖化や大気汚染といった環境問題が生物にどのような影響を与えるか、タマネギ発根本数、速度、細胞分裂の観察から考えます。								
	生物免疫学	松田	生体防御って何 ヒトには、病原体からからだを守るしくみが備わっています。その仕組みをゼミ形式で理解し、長期休みに国立感染研究所を訪問し理解を深めていきます。								
	地球科学	島田(祐)	地形と災害の関係を探る 地図・地形図をもとに、地形と災害の関係を自分で考えて理解します。								
	物理学	上條(康)	重力加速度を求める 物体の落下距離と落下時間を測定する実験を行い、実験データを解析して重力加速度を求めます。								
	確率・統計学	武田	確率 さいころ/カードを用いて実験を行い、実験で得られた数値と理想の数値の値の差異を調べます。								
	文系的視点	表現分析学	肥後	名実況を生む「言葉の法則」をデータから解明 オリンピック等の名場面を題材に、実況を文字に起こし、語彙や文の長さ、情報の種類(描写・分析・予測)を分析します。主観的な「感動」を客観的なデータに変換し、人々の印象に残る言葉のメカニズムを探究します。							
英語言語学		脇淵	言語の仕組みを探る 日常的に使う言語(言葉)はこれまでの歴史的(通時的)使用の過程で変化しながら現在の形となっていて、現在(共時的)も変化しています。意味や形の変化、1つ1つの単語の組み合わせで、どのように言語が作られているのかを探究します。								
日本語言語学		小川	日本語の仕組みを考える 歌詞の中の言葉はなぜ印象に残り、口ずさみやすいのか。日本語の構造を考えながら、どのような言葉を使うことで印象に残るフレーズを作ることが出来るのかについて考えます。								
古典学		高山(幸)	古語と現代語 言葉がどのように生まれ、どのように変遷していったのか。語源を含め、歴史的背景から言葉について考察します。								
科学リテラシー		島	科学報道と疑似科学 — 「科学的」とは何かを見極める メディアで取り上げられる科学に関する話題を題材に、「科学的」とは何か、また疑似科学とはどのような特徴を持つのかについて探究します。各生徒はテーマを設定し、複数の情報源を調査・比較した上で、主張の根拠や論理性を分析します。最終的には、分析結果をもとに自らの判断をまとめ、発表を行うことで、科学的思考力および情報リテラシーの育成を目指します。								